

1. 開催年月日 令和5年9月28日
2. 開催場所 三原駅前キオラスクエア内 サテラス
3. 委員出席
委員総数 6名
出席委員数 4名
- 放送事業者出席者
1名

4. 議題

- ・局からの近況報告
- ・番組審議について

5 議事の概要

6 審議内容

(1) 開会宣言

放送事業者からの開会宣言

(2) 局からの報告

「三原むかしばなし」8月放送の取り組みについて

事務局より以下の通り報告があった。

事務局「『三原むかし話』はボランティアの人を中心に読んでもらっている。月曜日から金曜日、一回目が朝の6時、二回目が夜の8時25分から放送している。毎月1作品から2作品の新作を制作している。また、8月は毎年戦争体験記を放送している。今年は8月に間に合わなかったが9月21日に95歳になる中岡穂子さんの原爆体験記を制作、放送した。これは時間も長かったために特番にした。来年もこのような取り組みをしていきたい。また、この三原むかし話の中では久井の話をつくつかり上げている。この久井の話は地元の有志団体がホームページでも聴けるようにつかり上げている。紙媒体も作っており、立体的に見えるものになっている。」

A 氏「被爆体験のエピソードの内容は良かった。できれば子供たちに聴かせたい。戦争体験が伝えにくい時代。何とか聴かせてあげることがあればと思う。私たちの世代はまだ、親が戦争体験を聞かせてくれたが今はない。」

B 氏「戦争という過去の出来事はなかなか、今の現実とつながりにくい。しかし、今回のエピソードの様に『糸崎駅』など自分たちの知っている名前があると一致する。これは貴重だと思う。子供たちに聴かせたい内容。子供たちに聴かせるために音源などを局から借りることは可能か？」

事務局「それは問題ない。」

B 氏「ただ、言葉が問題ではないかと思う。大人はまだ、聴いてもわかるが子供が聴くとわからない言葉がある。」

事務局「局として素材をみんなで聴いていただくために渡すことはできる。また、

全ての『三原むかし話』の音源をYouTubeにアップすることも検討している。そうすることによって多くの人たちに三原の昔の話を聞いてもらえる機会が増える。放送を中心にやっているが将来的にこのYouTubeについても考えていかなければならないと思う。」

B 氏「いつでも聞くことができるのは良いと思う。」

事務局「9月21日に制作放送した被爆体験特別番組は中岡穂子さんが語り継ぐ番組。この番組は約30分。昔の言葉で若い人たちにはわかりにくい部分もあるがリアルな被爆体験。これを伝えていくことは大切なことだと思っている。」

事務局「『甚五郎松』の話も改めて聴くと重い話。」

C 氏「昔の話は重い話が多い。話は戻るが三原の戦争体験を語り継いでいくことが大事。高校の校庭で芋を植えたなどのエピソードを聞いたことがある。他にもある。三原ならではの戦争体験を語り継ぐことは大切ではないかと思う。」

事務局「FMみはらとしてもこういった作品をアーカイブとして残すことは重要な役割だと感じている。現在のFMみはらの取り組みの一つとして今回報告させて頂いた。」

第一号議案「番組審議について」

番組名：ゆきこのキートスキッチン

放送日：毎月第三日曜日 18時から18時30分まで

事務局「地元のレストランのオーナーが始めた番組。料理番組はラジオ局にとって一つの課題。音だけで料理を伝えていくのが難しい。月一回ではあるがやってみようということで始めた。料理を作る部分を補足するために映像を加えたYouTube番組も制作、放送後、アップしている。」

A 氏「ラジオでは伝えにくいという前提でやっているがそれを補おうとしているのがわかる。そのせいか料理の部分も良く分かった。」

D 氏「車の中で聴いたが、料理の方法など良く分かった。ラジオだけで良く分かったのでYouTubeなしでも大丈夫ではないかと思った。また、アシスタントの早川さんも今回は良いサポートになっていると思った。聴いた内容を確認して家でも料理を試した。」

事務局「豚しゃぶの豚は火を止めることにより肉が固くなるのを防ぐというのは勉強になった。」

D 氏「かつおを塩で加えて冷蔵庫で冷やすなどいろいろと勉強になった。それらも全てメモに残すこともなく、頭に残ったので家で試せた。」

A 氏「しゃぶしゃぶの豚は細切れでも良い、という情報も参考になった。」

B 氏「確かに頭に残るように工夫されているのを感じた。」

D 氏「キートスとはフィンランド語で『ありがとう』ということ。調べて勉強になった。」

事務局「料理の選択も重要なポイントだと思っている。」

D 氏「料理のコツを教えてくれるので良いと思う。」

E 氏「YouTubeも見せてもらったが、30分は長い気がした。長いYouTube番組は再生しにくい。料理ごとに分けた方が再生しやすいように感じた。」

A 氏「一番視聴されやすいのは7分ぐらいではないかと思う。」

事務局「今後の制作において参考にしていきたいと思う。」